

# 農山村活性化に資する社会関係

キーワード 社会関係, 社会的ネットワーク, コモンズ



## ■ 研究概要

農山村での経済活動や社会生活において社会関係（人と人、あるいは組織と組織の関係）が果たす役割を研究しています。社会関係は、一見すると科学的探求の対象になりにくいのですが、主に社会学分野で発展した手法を用いることで、それを客観的に測定し、数値で表現することができます。具体的には次のような研究を行ってきました。

- 例1** 農山村地域では採れた農作物のおすそわけなど、贈答が盛んに行なわれています。一方、農山村集落内の社会関係にはお互いの生活をサポートする重要な役割があります。そこで贈答がサポート関係の維持に果たす役割を明らかにしました。
- 例2** 欧米の林業先進国に比べて、日本林業の生産性は低いとされています。しかし、日本の林業事業者のなかにも、比較的高い生産性を達成している企業とそうでない企業があります。そこで、林業事業者とその取引相手との間の関係を社会関係として捉え、どのような社会関係をもつ企業がより高い生産性を達成しているのかを明らかにしました。
- 例3** コモンズ（共有林）では1960年代頃から盛んに造林が行なわれるようになりました。このときとくに造林が盛んに行なわれた集落にどのような社会関係が存在していたのかを明らかにしました。
- 例4** 一部のコモンズでは、1980年代頃から、山菜採りを希望する外来者に対して、利用を開放するようになりました。そのような利用開放を行なった集落にどのような社会関係が存在していたのかを明らかにしました。

## ■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・イノベーションの採用に有益な社会関係のあり方
- ・生産性の向上に資する社会関係のあり方
- ・集落活動を活発にする社会関係のあり方

林 雅秀 教授 HAYASHI, Masahide

専門分野：林業社会学・集合行為論  
E-mail : hayashima@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

